

受付
27.12.24
企画部

共通第11号様式(第17条第1項)



平成27年度 補助金等実績報告書

平成27年12月24日

函館市長 工藤 壽樹 様

〒040-0054

住所 函館市元町30番5号

補助事業者等 団体名 特定非営利活動法人

道南マウコピリカの会

代表者氏名 理事長 加藤 敬人

補助事業等の名称 第3回台湾原住民族との函館交流会

平成27年 8月31日函企国をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、平成27年12月20日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額	金	200,000円
補助金等領収済額	金	200,000円
補助金等領収未済額	金	0円

補助事業等の実績書

名 称	第3回台湾原住民族との函館交流会
開 催 期 日	平成27年10月16日から平成27年10月19日まで
開 催 場 所	函館市内 函館市役所 五島軒本店 函館中央教会
主催者・共催者 および後援者等	主催;特定非営利活動法人道南マウコピリカの会 共催;函館アイヌ協会 後援;函館市及び函館市教育委員会 ほか
参 加 人 員	台湾一行4人。主催者15人、一般参加者31人 計50人 うち外国人参加者人数 4人
補 助 事 業 等 の 内 容	16日、台湾行政院原住民族委員会ヨハニ元主任委員（日本でいうところの大臣）夫妻と[]合わせて4人が来函し、函館市を表敬訪問、その後歓迎交流会を主催者と川村生涯学習部長を含め、計14人で五島軒にて実施。この後、タクシーで函館山から夜景視察（7人）。 17日、台湾一行が北方民族資料館を見学、昼食後、午後から研修交流会を函館中央教会にて15人で実施。交流会は地雷也にて14人で実施。 18日、午後からシンポジウム、50人。ヨハニ元大臣ら4氏による講演、[]のプヌン民族の歌謡紹介、アイヌ民族舞踊・弓の舞など紹介。会場との意見交換。夜は送別交流会をレストランにて18人で、サンシン奏者の飛入りがあり沖縄民謡で踊、台湾一行との別れを惜しんだ。 19日、台湾一行の函館からの帰路便を、飛行機会社が一方的に新千歳空港からに振替えた為、新千歳空港まで送ることになり、魚市で朝食をとり、ついでに途中、白老町のアイヌ民族博物館に立寄って交流し、帰路について頂いた。
補 助 事 業 等 の 実 施 に よ る 効 果	国際観光都市宣言をしている函館市及び市民にとって、台湾の元大臣らを迎え、原住民族が果たした文化復興&権利回復ならびに社会貢献の経験を学び交流する機会は、国際社会に開かれた視野を広げ、担い手育成にも繋がるものであり、その宣言を体現しえたのではないかと考えております。 台湾からの来函者が増加している中で、この函館市においても日本の先住民族アイヌとの文化交流が行えるということ、また相互訪問等への意欲が醸成されたこと等から、先住民族ともども原住民族をはじめとした台湾との文化交流の推進に寄与しえたのではないかと考えております。
備 考	本事業は、公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の国際文化交流助成事業としても執り行いました。

- (注) 1. この様式は、大会等の開催その他これに類する事業等に補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
2. 補助事業等の内容は、詳細に記載すること。(別紙も可)
3. その他必要と認められた書類を添付すること。

補助事業等の収支決算書

収入の部

(単位:円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち, 補助対象事業		うち, 補助対象事業		うち, 補助対象事業	
助成金	469,000	450,000	469,000	425,100	0	△24,900	
補助金	200,000	200,000	200,000	200,000	0	0	
協賛金	20,000	0	3,000	0	△17,000	0	
参加費	168,000	0	161,000	0	△7,000	0	
自己資金	14,000	0	13,848	0	△152	0	
合 計	871,000	650,000	846,848	625,100	△24,152	△24,900	

支出の部
円)

(単位:

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち, 補助対象事業		うち, 補助対象事業		うち, 補助対象事業	
渡航費	287,000	287,000	287,000	287,000	0	0	
滞在費	118,000	118,000	117,600	117,600	400	400	
日当	35,000	0	35,200	0	△200	0	
記念品	30,000	30,000	30,000	30,000	0	0	
事業費	401,000	215,000	377,048	190,500	23,952	24,500	
合 計	871,000	650,000	846,848	625,100	24,152	24,900	

※実績報告の場合 収支差引額 0円

- (注) 1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用する。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認められた書類を添付すること。

(共通第4号様式別添)

決算額内訳一覧

(収入の部)

(単位：円)

項目	本年度決算額		積算内訳	備考
		うち、 補助対象事業		
助成金	469,000	425,100	アイヌ文化財団の国際文化交流助成金	
補助金	200,000	200,000	函館市国際交流事業活動補助金	
協賛金	3,000	0	個人	
参加費	161,000	0	歓迎交流会(16日) @5,000×14人 交流会(17日) @3,500×13人 送別交流会(18日) @3,500×13人	
自己資金	13,848	0	道南マウコピリカの会負担金	
合計	846,848	625,100		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。

(共通第4号様式別添)

決算額内訳一覧

(支出の部)

(単位：円)

項 目	本年度決算額		積算内訳	備 考 (領収書No.)
		うち 補助対象事業		
渡航費 (航空費) (空港諸税) (燃料サーチャージ)	287,000 (260,000) (4,600) (22,400)	287,000 (260,000) (4,600) (22,400)	台北-函館、新千歳-台北 @65,000×4人 @1,150×4人 @5,600×4人	No.1 飛行機会社の都合により復路は 新千歳-函館を 使用
滞在費	117,600	117,600	@9,800×3泊×4人 (アイヌ文化財団基準による)	No.2-1~No.2-4
日当	35,200		@2,200×4日×4人(補助対象外) (アイヌ文化財団基準による)	No.2-1~No.2-4
記念品	30,000	30,000	ニポポ、ムックリ ほか	No.3
事業費 (使用料)	377,048 (10,500)	190,500 (10,500)	17日研修会会場費 2,000円 18日シンポジウム会場費 8,500円 ホスター・チラシ等印刷代金 100,980円 ホスター・チラシ等デザイン料 27,000円 シンポジウム会場縦幕代金 9,720円	No.4 No.4 No.5 No.6 No.6
(印刷製本費)	(127,980)	(127,980)		
(消耗品費)	(9,720)	(9,720)		
(謝礼金)	(20,000)	(20,000)	石村明子通訳謝礼金(交通費含)	No.7
(交通費)	(24,820)	(22,300)	16日函館山夜景視察タクシー代 2台分 13,000円 19日ゲスト送り交通費高速代金 ・大沼公園本線~白老 2台分 9,300円 ・白老~新千歳空港 2台分 2,520円(補助対象外) アイヌ博物館視察のため (補助対象外)	No.8 No.9 No.9
(交流会)	(184,028)		16日歓迎交流会 14人 70,000円 17日昼食交流費 8人 9,504円 17日交流会 13人 51,824円 18日送別交流会 18人 45,500円 19日朝食会費 6人 7,200円	No.10 No.10 No.11 No.12 No.12
合 計	846,848	625,100		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とする